

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書（3回目）

- 1 次の感染流行の波に備え、過去2回の提言事項を踏まえた取組を実施・拡充するとともに、議決された予算については有効かつ着実に執行すること。

⇒**回答**：市民の命と健康を守ることを最優先に、市民生活を支えるとともに地域経済の回復を図るため、引き続き、効率的で効果的な予算の執行に努めていきます。

また、今後の新型コロナウイルス感染症対策の取組については、状況的確な把握に努めるとともにスピード感を持って、状況に応じた取組や支援を行っていきます。

- 2 様々な行動自粛や行動変容に伴う精神的ストレスの蓄積に加え、流行が長期化する中でメンタルヘルスの悪化が懸念されることから、実態把握に努めるとともに、自死防止対策の強化や相談体制の充実を図ること。

⇒**回答**：厚生労働省から毎月公表される「自殺者数」、「性別」、「年齢別」等の統計を引き続き注視し、実態把握に努めていきます。

また、こころのセルフケアや自身の不調に気付くための方法（セルフチェック）、相談窓口等に関する情報を市民だより、ホームページ等に掲載していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「コロナうつ」、「子どもの自殺」、「産後うつ」などのテーマで配信を増やし、自殺対策の強化を図っています。

さらに、各種関係機関と連携を図っている中で、特に衣浦東部保健所とは常に、こころの医師相談の紹介、保健所職員（精神保健福祉士等）からの助言、対応内容についてアドバイス、保健所で開催される自殺対策の会議・研修などへの参加による相互交流を行っており、引き続き、情報共有を行いながら相談体制の充実を図っていきます。

- 3 感染症と自然災害による複合災害への備えとして、分散避難の重要性を市民に周知するとともに、防災備蓄品や避難所運営マニュアルの見直しを早急に進めること。

⇒**回答**：分散避難については、引き続き、市民の皆さまに親類や知人宅への避難や在宅避難などの呼びかけをしていきます。

避難所の備蓄品については、補正予算によりマスク、消毒液に限らず、感染者の発生状況に応じて必要となる備品を購入しており、さらに、避難所の感染症の感染防止のため、小中学校等に簡易ベッドや間仕切りなどの配備を進めています。

避難所運営マニュアルの見直しについては、愛知県が新たに策定した「避難所における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を参考に、避難者の検温を含めた体調確認等の方法など避難所における感染症対策についてまとめた手順書を作成しており、職員に対して避難所開設訓練も実施しています。手順書については、県の改定等に合わせて随時更新してまいります。

4 国が年内に策定予定の「自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画」の動向を踏まえ、行政手続きのオンライン化やシステム標準化など行政のデジタル化を積極的に推進し、住民の利便性の向上を目指すこと。

⇒ 回答 自治体DXは、行政のデジタル化による自治体行政の効率化や市民の利便性の向上を目指すもので、本市も国や県の動向を注視しながら、押印が必要な手続きの見直しやマイナンバーカードの普及・利活用等を図りつつ、行政手続きのオンライン化を推進していきます。

また、国におけるシステム標準化の取組を踏まえ、AI・RPAの活用を推進するとともに、業務プロセス・システムの見直し等を検討する等、デジタル化による業務効率化に取り組みながら、住民の利便性の向上を図っているところです。